



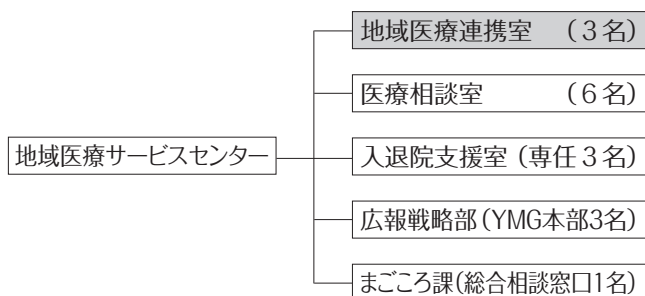
地域医療サービスセンター

地域医療連携室.....	P164
医療相談室.....	P169
入退院支援室.....	P174
広報戦略部.....	P176

[地域医療サービスセンター] 地域医療連携室

課長 黒川 智

1 業務体制



●人員構成(2022年4月1日～2023年3月31日)

職員数		2022年度(対前年度)		
2021	2022	増員	減員	差引
4	3	2	3	-1

2 業務内容

- ・ 対外活動(医療機関・救急隊など)
- ・ 紹介患者の対応
- ・ 紹介元医療機関への報告書の返信および返信確認
- ・ 転医先の検索・照会
- ・ スキルアップセミナー等、対外向け研修会の企画・運営
- ・ ID-LINK(地域医療連携ネットワークシステム)の利用促進

3 業務状況

2022年度は、新型コロナウイルス感染症の流行状況にも波があり、同感染症といかにうまく付き合っていくかを問われる年であった。

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れるにあたり、全体の受入可能病床が減少したため入院が受けられないケースや、同感染症患者の救急外来での処置に時間を要しスムーズな受け入れができないケースが多くみられた。

当院でも2022年3月や12月にクラスターが発生したが、通常業務を継続しつつ、拡大を最小限にとどめ短期間で鎮静化できたことは、過去の経験を活かして対応した結果と考えている。

医療機関や救急隊への定期的な訪問は困難であったが、感染状況を見計らいながら医師や他職種との同行訪問を実施した。

2022年度は、紹介患者数7,636件(前年比769件減)となっており、前年度は一時的に乳腺外科に入局した医師への紹介が多く件数増加となったが、今年度はその紹介数も落ち着いてしまい前年度を下回る結果となった。

4 特に力を入れたこと

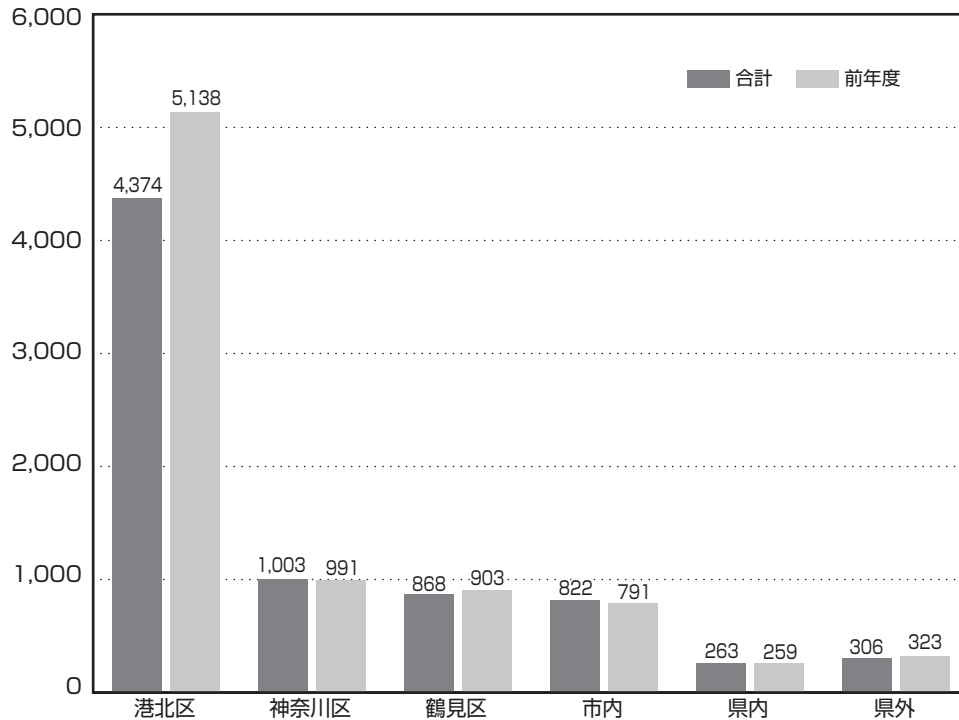
新型コロナウイルス感染症の受け入れを継続しつつ、紹介増を目指す診療科(特に外科、乳腺外科)を中心に医師同行で医療機関の訪問を行い、診療体制のご案内・情報交換に注力した。

救急隊への訪問については、年度後半に連携室担当者が交代した旨のご挨拶とコロナ禍での当院の役割や対応などをお伝えし、コミュニケーションの充実と救急搬送受け入れ増加を図った。

5 今後の課題

2023年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類から5類に移行されるが、救急車の受け入れを断らず、救急を要する患者さまを24時間体制で診療することに変わりはない。当院が急性期医療を継続していくためには、紹介と救急車搬送が不可欠である。従来からの体制に戻すだけではなくスキルアップするためには、今までの渉外活動やセミナー開催方法等を見直し、改善していく必要がある。さらに院内の他職種連携を強め、地域医療に取り組むことで、当院が地域から求められるよう、地域医療連携室の立場から院内・院外との連携強化を図っていききたい。

●地域別紹介件数



単位: 件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
港 北 区	346	366	358	379	294	383	373	380	391	355	352	397	4,374	5,138
神 奈 川 区	86	74	98	91	67	84	91	89	92	70	75	86	1,003	991
鶴 見 区	77	66	68	79	60	73	81	56	85	62	64	97	868	903
市 内	75	66	75	77	64	60	75	73	56	63	70	68	822	791
県 内	14	23	30	19	35	22	16	17	17	25	18	27	263	259
県 外	30	35	23	30	22	25	24	21	24	24	21	27	306	323
合計	628	630	652	675	542	647	660	636	665	599	600	702	7,636	8,405

●逆紹介件数

単位: 人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
351	346	416	327	360	390	432	383	372	373	377	412	4,539	4,082

●検査別紹介件数

単位: 件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
C T	98	97	119	110	71	94	108	108	129	102	96	110	1,242	1,254
M R I	70	74	56	67	47	74	74	54	73	58	78	87	812	989
内視鏡(食道・胃・十二指腸)	28	24	29	33	17	27	21	14	21	19	22	28	283	250
内視鏡(大腸)	8	12	19	17	12	11	10	14	13	6	18	12	152	152
心臓エコー	8	6	9	6	5	3	5	5	6	6	10	29	98	52
腹部エコー	9	8	3	6	9	9	7	9	13	9	10	7	99	73
体表エコー	3	4	3	3	2	3	2	4	1	4	1	2	32	39
血管エコー	0	5	2	3	6	9	4	3	2	7	9	15	65	32
トレッドミル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	224	230	240	245	169	230	231	211	258	211	244	290	2,783	2,841

病院概要
統計
臨床指標
質評価指標
診療部
診療補助部
看護部
事務部
地域医療
サ―ビスセンター
医療安全
管理室
人材開発室
人間ドック・健診部
菊名記念A A
クリニック
Y M G在宅支援
総合センター
学会・研究会・誌上発表
委員会・一覽
くたかけ会

●診療科別紹介患者数

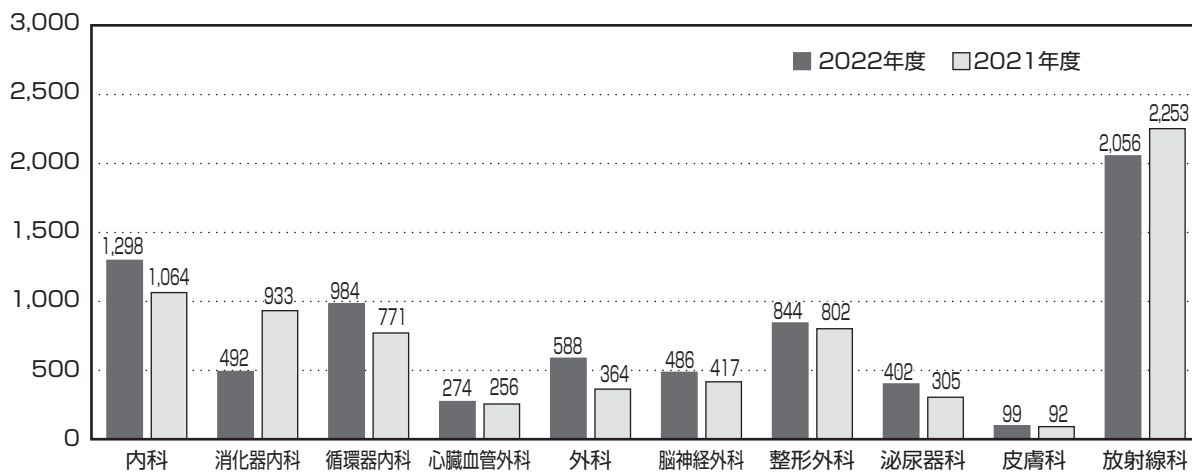
単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
内科	総数	100	117	119	135	99	113	91	113	109	107	97	98	1,298	1,064
	外来	76	88	94	102	71	93	74	82	92	81	75	72	1,000	771
	入院	24	29	25	33	28	20	17	31	17	26	22	26	298	293
	入院率(%)	24.0	24.8	21.0	24.4	28.3	17.7	18.7	27.4	15.6	24.3	22.7	26.5	23.0	27.5
消化器内科	総数	26	36	43	40	32	38	41	37	30	80	49	40	492	933
	外来	23	33	36	34	28	36	31	32	26	62	41	36	418	823
	入院	3	3	7	6	4	2	10	5	4	18	8	4	74	110
	入院率(%)	11.5	8.3	16.3	15.0	12.5	5.3	24.4	13.5	13.3	22.5	16.3	10.0	15.0	11.8
循環器内科	総数	88	95	59	73	61	82	83	115	72	91	78	87	984	771
	外来	73	75	50	59	55	71	71	97	58	69	65	73	816	605
	入院	15	20	9	14	6	11	12	18	14	22	13	14	168	166
	入院率(%)	17.0	21.1	15.3	19.2	9.8	13.4	14.5	15.7	19.4	24.2	16.7	16.1	17.1	21.5
心臓血管外科	総数	16	21	29	22	14	23	30	12	16	35	34	22	274	256
	外来	13	17	21	18	14	18	25	12	14	29	32	19	232	213
	入院	3	4	8	4	0	5	5	0	2	6	2	3	42	43
	入院率(%)	18.8	19.0	27.6	18.2	0.0	21.7	16.7	0.0	12.5	17.1	5.9	13.6	15.3	16.8
外科	総数	64	41	90	36	54	30	46	47	57	33	40	50	588	364
	外来	57	28	69	28	43	22	35	39	44	24	27	37	453	251
	入院	7	13	21	8	11	8	11	8	13	9	13	13	135	113
	入院率(%)	10.9	31.7	23.3	22.2	20.4	26.7	23.9	17.0	22.8	27.3	32.5	26.0	23.0	31.0
脳神経外科	総数	46	32	49	38	18	43	40	37	39	49	32	63	486	417
	外来	36	27	39	30	35	35	34	27	34	35	27	47	406	305
	入院	10	5	10	8	15	8	6	10	5	14	5	16	112	130
	入院率(%)	21.7	15.6	20.4	21.1	83.3	18.6	15.0	27.0	12.8	28.6	15.6	25.4	23.0	31.2
整形外科	総数	64	74	90	80	67	67	68	58	54	80	65	77	844	802
	外来	57	62	69	65	60	57	56	49	51	62	50	60	698	620
	入院	7	12	21	15	7	10	12	9	3	18	15	17	146	182
	入院率(%)	10.9	16.2	23.3	18.8	10.4	14.9	17.6	15.5	5.6	22.5	23.1	22.1	17.3	22.7
泌尿器科	総数	33	30	32	32	33	30	34	45	33	30	29	41	402	305
	外来	32	25	27	30	31	28	34	40	31	26	26	36	366	273
	入院	1	5	5	2	2	2	0	5	2	4	3	5	36	32
	入院率(%)	3.0	16.7	15.6	6.3	6.1	6.7	0.0	11.1	6.1	13.3	10.3	12.2	9.0	10.5
皮膚科	総数	8	6	9	16	7	7	8	6	6	6	8	12	99	92
	外来	8	6	9	16	7	7	8	6	6	6	8	12	99	92
	入院														
	入院率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線科	総数	165	172	178	179	116	170	182	164	202	159	172	197	2,056	2,253
	外来	165	172	178	179	116	170	182	164	202	159	172	197	2,056	2,253
	入院														
	入院率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	総数	610	624	698	651	501	603	623	634	618	670	604	687	7,523	7,257
	外来	540	533	592	561	460	537	550	548	558	553	523	589	6,544	6,206
	入院	70	91	106	90	73	66	73	86	60	117	81	98	1,011	1,069
	入院率(%)	11.5	14.6	15.2	13.8	14.6	10.9	11.7	13.6	9.7	17.5	13.4	14.3	13.4	14.7
前年度	総数	688	611	726	546	531	602	729	658	612	550	434	570	7,257	
	外来	589	517	611	464	458	515	633	576	526	454	376	487	6,206	
	入院	99	94	115	82	91	87	96	82	86	96	58	83	1,069	
	入院率(%)	14.4	15.4	15.8	15.0	17.1	14.5	13.2	12.5	14.1	17.5	13.4	14.6	14.7	

・入院数は紹介状を持参した日に入院したものをカウント
 ・血液・腫瘍内科は内科に含む ・腎臓内科は内科に含む
 ・女性外来・乳腺センター内の皮膚科は皮膚科に含む

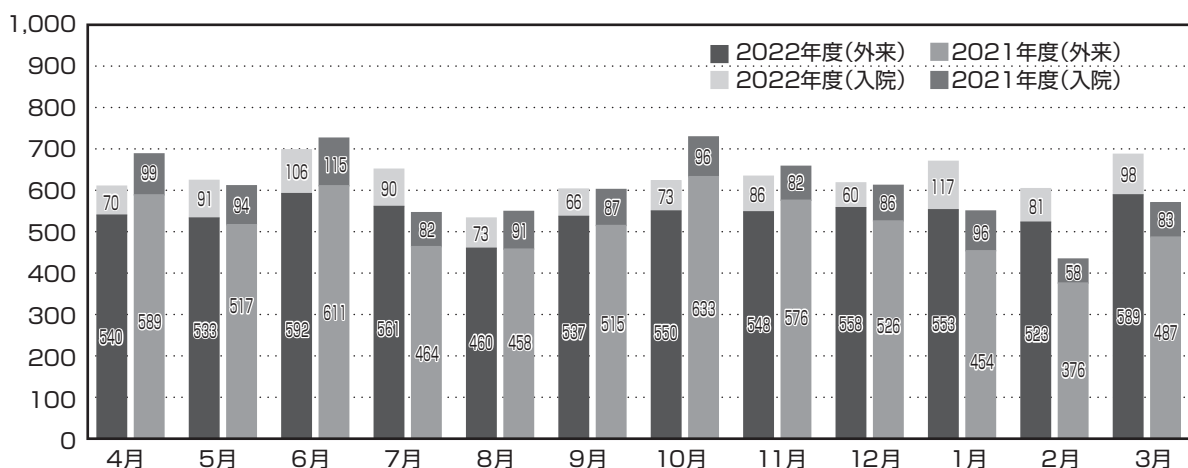
●診療科別紹介患者数

単位：人



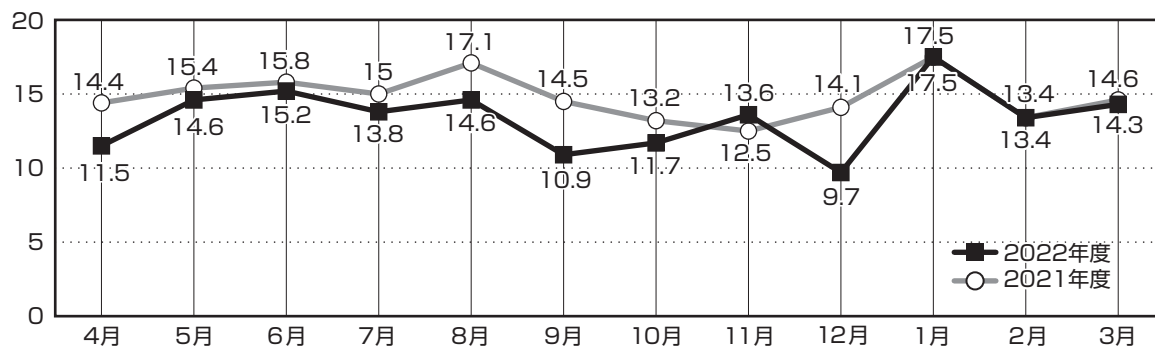
●外来・入院紹介患者数

単位：人



●紹介患者入院率

単位：%



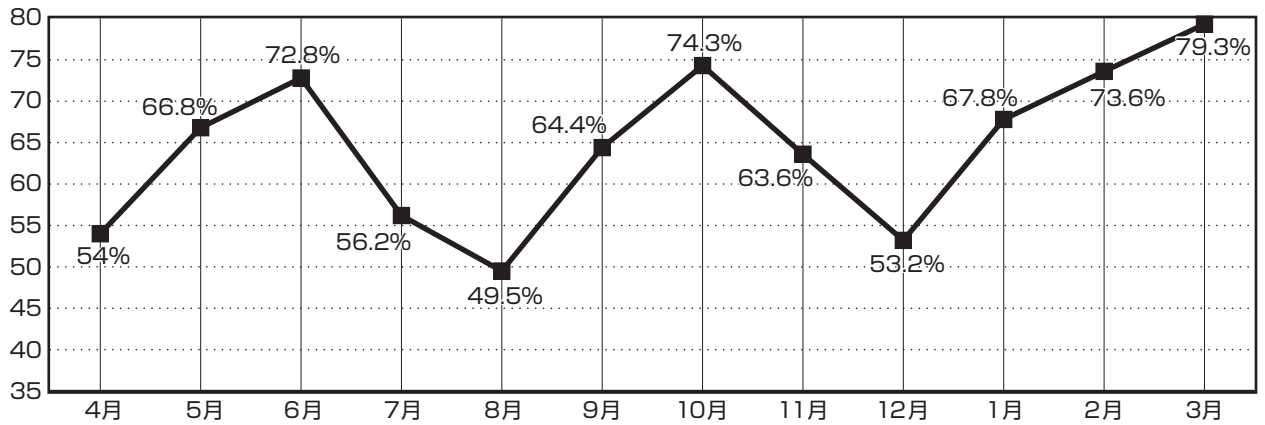
●女性外来・乳腺センター 診療科別紹介患者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
婦人科	6	4	2	3	6	1	1	3	1	2	2	5	36	16
乳腺外科	48	35	29	39	30	37	42	26	39	22	23	33	403	990
こころ	1	0	4	1	7	1	1	0	0	2	0	1	18	10
合計	55	39	35	43	43	39	44	29	40	26	25	39	457	1,016

※泌尿器科…2022年度常勤医不在につき記載なし

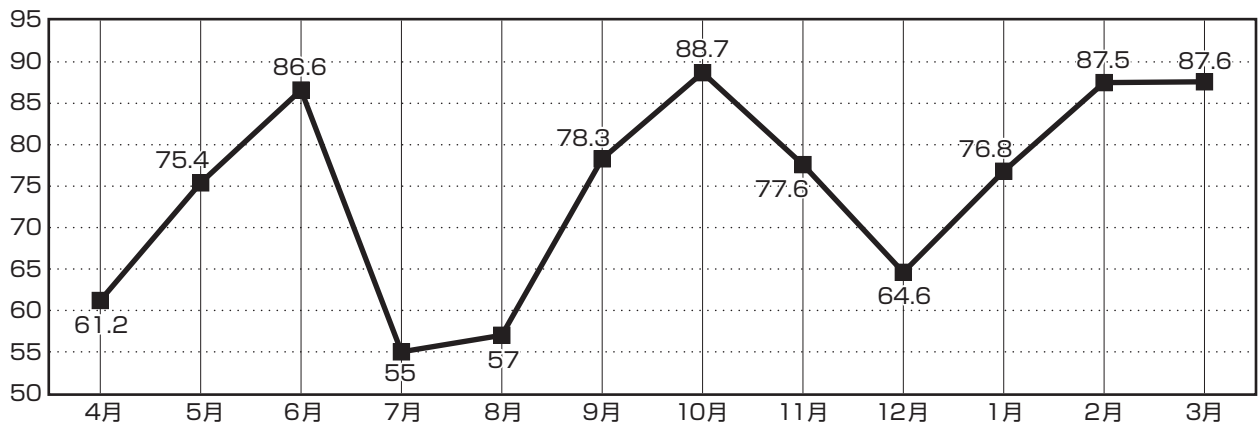
●地域医療支援病院 紹介率



単位：%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度
紹介率	54.0	66.8	72.8	56.2	49.5	64.4	74.3	63.6	53.2	67.8	73.6	79.3	64.6	63.4

●地域医療支援病院 逆紹介率



単位：%

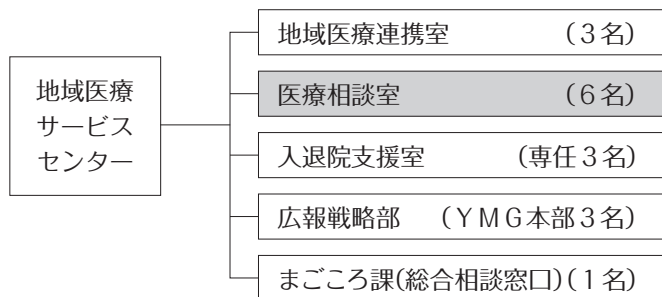
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度
逆紹介率	61.2	75.4	86.6	55.0	57.0	78.3	88.7	77.6	64.6	76.8	87.5	87.6	74.7	71.9

[地域医療サービスセンター]

医療相談室

係長 武田 美樹

1 業務体制



●人員構成(2022年4月1日~2023年3月31日)

職員数		2022年度(対前年度)		
2021	2022	増員	減員	差引
6	6	2	2	0

【資格および認定資格取得者】

- ・社会福祉士(既取得者6名)
- ・精神保健福祉士(既取得者3名)
- ・社会福祉士実習指導者(既取得者3名)

2 業務内容

保健医療機関において、社会福祉の立場から患者やその家族の方々の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進を図る。

外来・入院患者の支援、各科・病棟カンファレンスの参加、地域医療サービスセンター合同ミーティング、地域会議への参加、YMGグループ連携会議、居宅サービス連絡会、退院前カンファレンスの開催、各種リーフレット作成、関連施設・病院挨拶回り。

3 業務状況

年度内で人員体制の変動があり、実働は4名体制の時期が長かった。そのため新横浜リハビリテーション病院より出向者3名を1名ずつ交代で迎え、業務にあたった。

新型コロナウイルス感染症による院内外のクラスターの影響は大きく、退院調整に関しては平均在院日数や回転率にマイナスの影響を及ぼした。そのような中で地域医療サービスセンターとしてより効果的な業務遂行を目指し、協議を重ね、退院支援を進めた。またYMG内の連携を深め、YMG施設への転院件数の増加についても効果や課題が見えた1年となった。

4 特に力を入れたこと

●早期介入・多職種他機関との連携・内科カンファレンスの実施

在院日数短縮を目指し、毎朝地域医療サービスセンター合同スクリーニングを実施し、入退院支援室との協働等で早期介入に努めた。他にも病棟でのカンファレンス、退院前カンファレンス等で多職種他機関との連携強化を行った。入退院支援計画書は、入退院支援室と協働で取得を行い、前年度325.8件/月に対し334.8件/月と件数を増やし、早期退院支援に努めた。また、内科多職種カンファレンスを開始し、早期方針決定に関与した。

●部署目標への取り組み

今年度はYMG施設への転院件数の増加を目指した取り組みを行った。結果、前年度に対し最大で164%の転院件数増となった。一方で、新型コロナウイルス感染症による院内外クラスターの影響もあり、支援日数は長期化した。次年度はYMG施設、またYMG外の連携期間とのよりスムーズな連携に向け、課題の共有と改善を目指したい。

●部署内の力量底上げ

研修参加の他、勉強会の強化、スーパービジョンを実施した。それぞれ明確な目標を掲げ、意欲的に取り組んだ。

●業務の効率化

人員不足の状況により、他部署の非常勤職員の応援を依頼し、事務作業の協力を得た。部署の業務整理やモチベーション維持につながった。

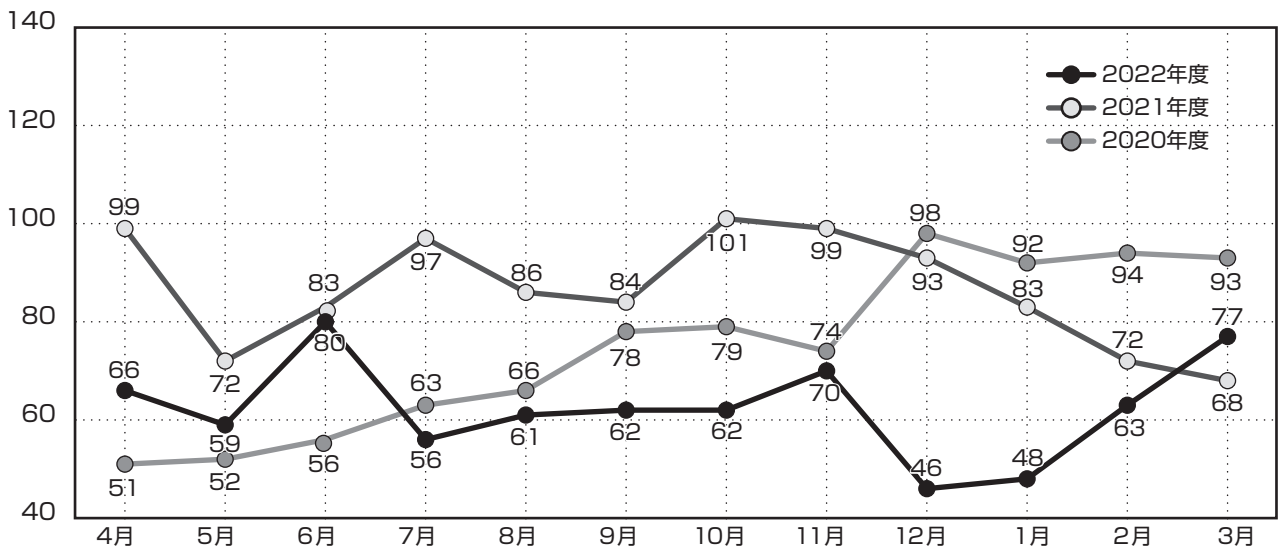
5 今後の課題

超高齢化社会におけるコミュニティの脆弱さ、社会背景の複雑化は年々顕著となっており、かつ退院支援に求められるスピードや支援の質は高くなっている。そのため、地域医療サービスセンターに期待される役割を果たすべく、医療相談室としてよりハイレベルな支援を提供できるよう今一度取り組みを見直す必要があると考える。

また、後方連携においては連携機関の協力なしでは成り立たず、当院が求める社会資源の開拓にも積極的に取り組む必要があるだろう。

働きやすい職場環境づくりを進め、院内外より信頼され、あらゆる状況に柔軟に対応できる活力ある部署となっていきたい。

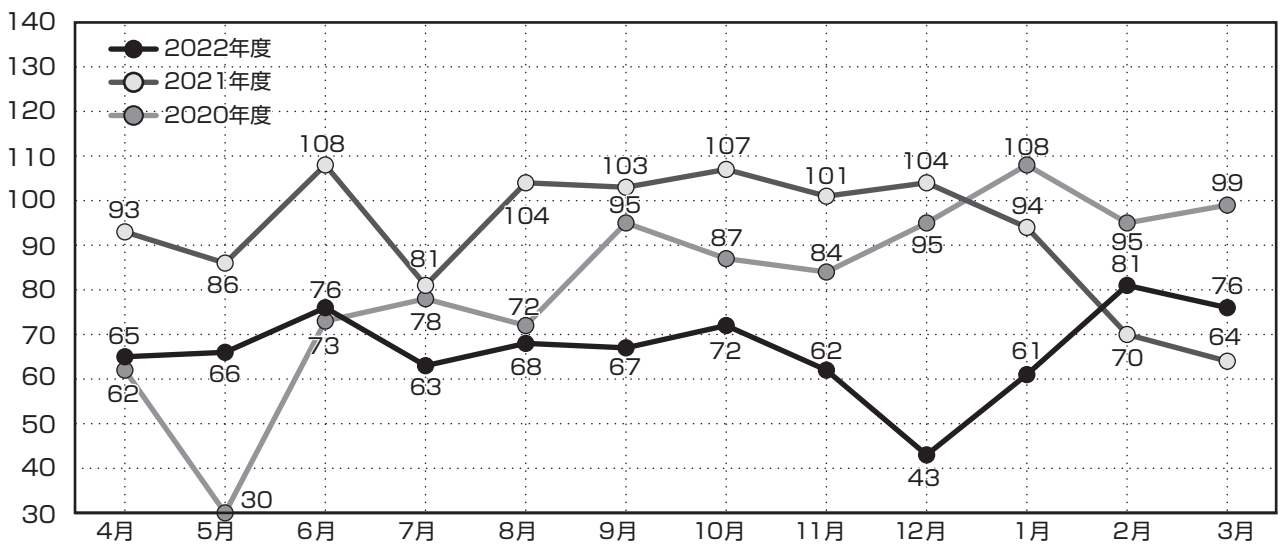
●退院支援件数



単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022	66	59	80	56	61	62	62	70	46	48	63	77	750
2021	99	72	83	97	86	84	101	99	93	83	72	68	1,037
2020	51	52	56	63	66	78	79	74	98	92	94	93	896

●依頼・介入件数



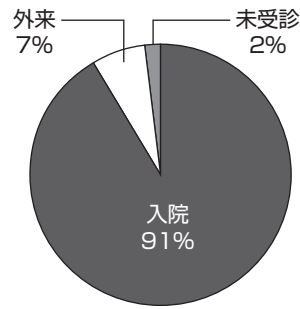
単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022	65	66	76	63	68	67	72	62	43	61	81	76	800
2021	93	86	108	81	104	103	107	101	104	94	70	64	1,115
2020	62	30	73	78	72	95	87	84	95	108	95	99	978

● 援助内容

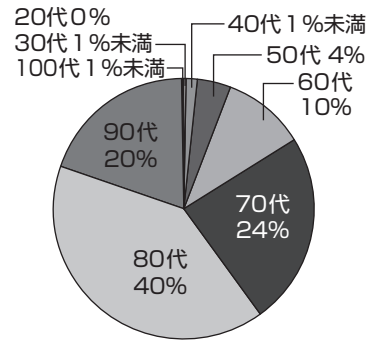
単位：件

[入外内訳]	
入院	734
外来	55
未受診	14



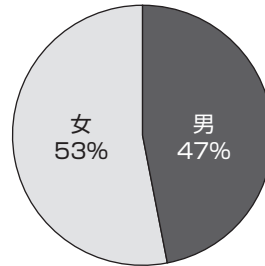
単位：件

[年代別]	
20代	0
30代	4
40代	11
50代	34
60代	86
70代	199
80代	335
90代	162
100代	1



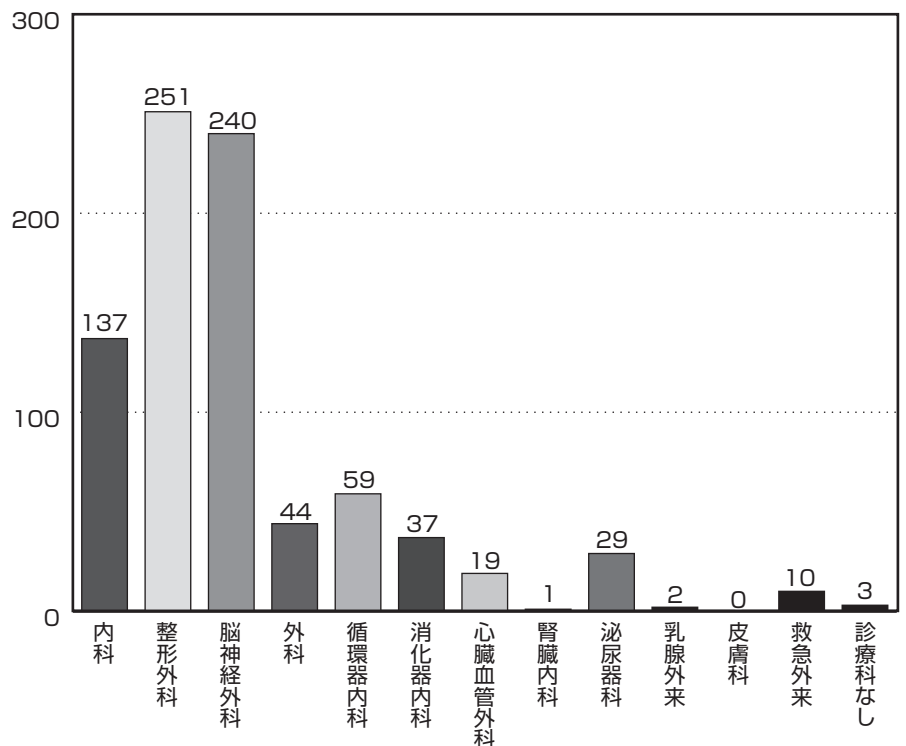
単位：件

[性別]	
男	393
女	439



単位：件

[診療科]	
内科	137
整形外科	251
脳神経外科	240
外科	44
循環器内科	59
消化器内科	37
心臓血管外科	19
腎臓内科	1
泌尿器科	29
乳腺外科	2
皮膚科	0
救急外来	10
診療科なし	3



病院概要

統計

臨床指標
質評価指標

診療部

診療補助部

看護部

事務部

地域医療
サービスセンター

医療安全
管理室

人材開発室

人間ドック健診部

菊名記念AA
クリニック

YMG在宅支援
総合センター

学会・研究会・
誌上発表

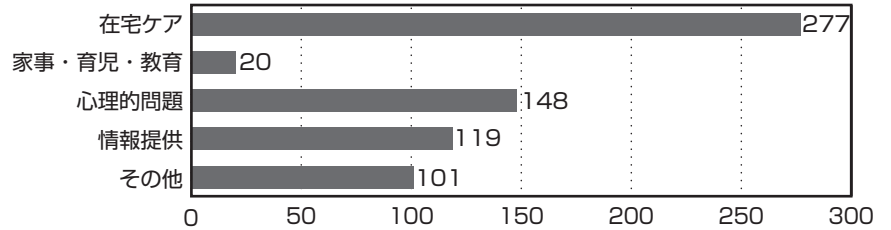
会議・
委員会一覧

くたかけ会

● 援助内容

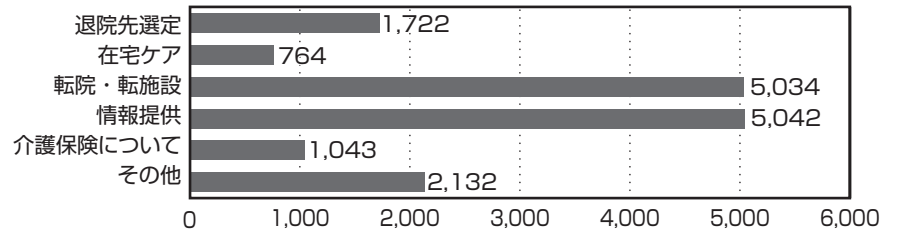
単位：件

[心理・社会的問題]		
665件	在宅ケア	277
	家事・育児・教育	20
	心理的問題	148
	情報提供	119
	その他	101



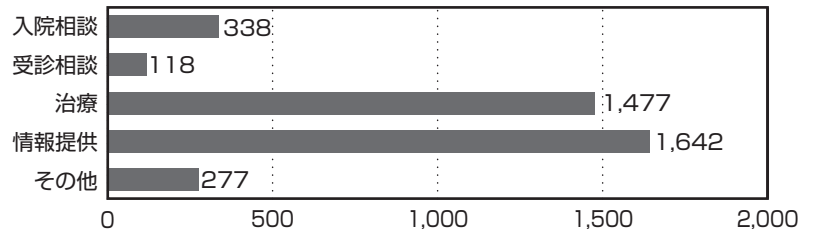
単位：件

[退院支援]		
15,737件	退院先選定	1,722
	在宅ケア	764
	転院・転施設	5,034
	情報提供	5,042
	介護保険について	1,043
	その他	2,132



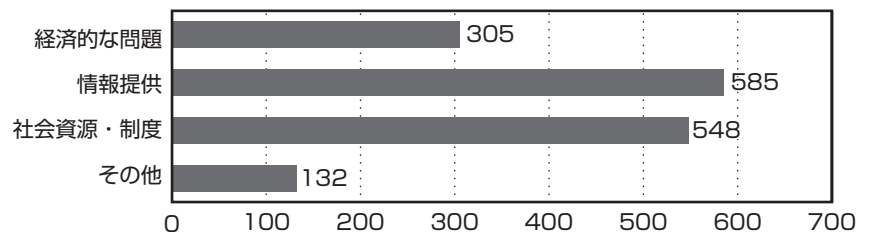
単位：件

[受診・受療]		
3,852件	入院相談	338
	受診相談	118
	治療	1,477
	情報提供	1,642
	その他	277



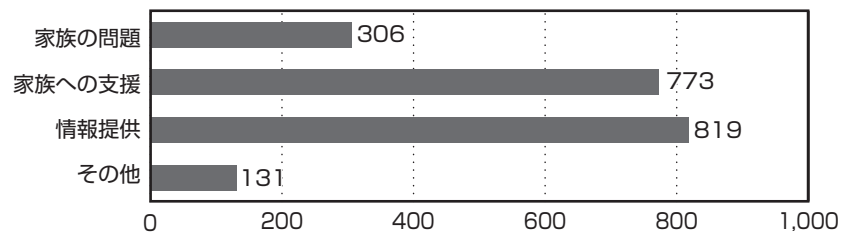
単位：件

[経済的問題]		
1,570件	経済的な問題	305
	情報提供	585
	社会資源・制度	548
	その他	132



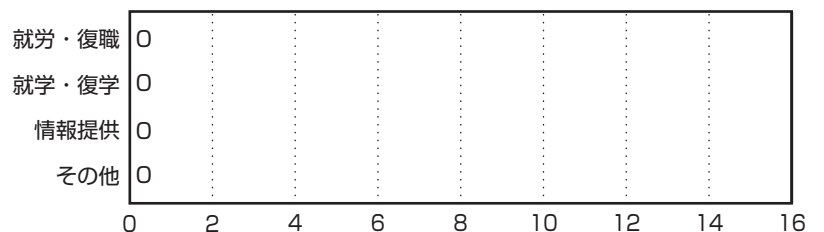
単位：件

[家族への支援]		
2,029件	家族の問題	306
	家族への支援	773
	情報提供	819
	その他	131



単位：件

[社会復帰支援]		
0件	就労・復職	0
	就学・復学	0
	情報提供	0
	その他	0



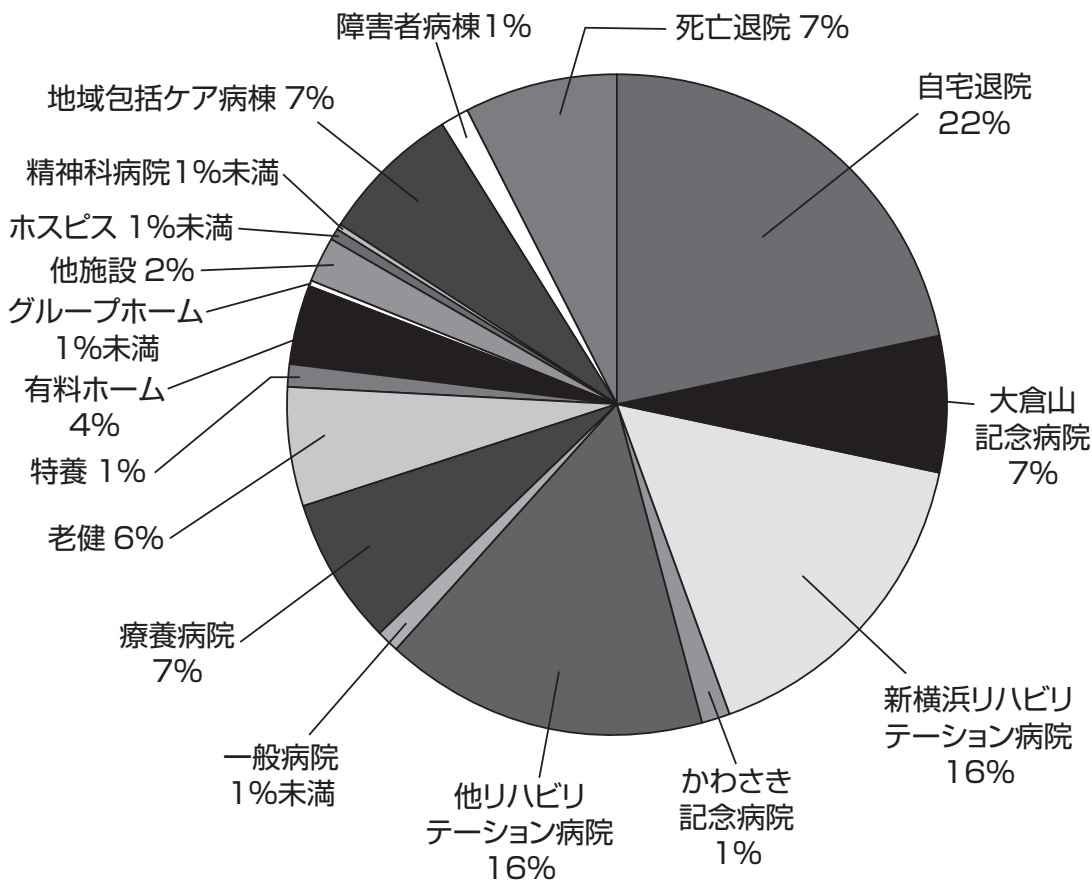
●退院支援者の退院先

平均介入日数	33.1
単位：日	
長期入院患者(28日以上)数	33.2
単位：件	
入院～介入日の日数	6.2
単位：日	

単位：件

[退院先内訳]	
自宅退院	164
大倉山記念病院	50
新横浜リハビリテーション病院	120
かわさき記念病院	10
他リハビリテーション病院	120
一般病院	7
療養病院	56
老健	43
特養	9
有料ホーム	28
グループホーム	2
他施設	17
ホスピス	4
精神科病院	3
地域包括ケア病棟	52
障害者病棟	10
死亡退院	55
合計	750

●退院先内訳



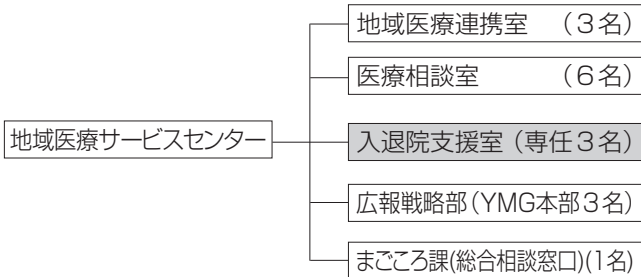
病院概要
統計
臨床指標
診療部
診療補助部
看護部
事務部
地域医療サービスセンター
医療安全管理室
人材開発室
人間ドック健診部
菊名記念AAクリニック
YMG在宅支援総合センター
学会・研究会・誌上発表
委員会・一覧
くたかけ会

[地域医療サービスセンター]

入退院支援室

副看護部長 長谷川 紀子

1 業務体制



2 業務内容

- 1) 入院時スクリーニングによる退院困難・要支援事例の特定
- 2) 看護面談にて早期介入し、地域医療連携室、医療相談室との連絡調整
- 3) 治療・看護目標確認、総合評価→退院支援計画立案または相談室へ連携
- 4) 退院支援計画についてのインフォームドコンセント、看護計画への反映
- 5) 在宅移行に必要な生活指導、介護指導
- 6) 地域保健・医療・福祉機関との連絡連携、合同カンファレンス
- 7) 退院・転院搬送時の付き添い
- 8) 総合相談窓口(患者サポート窓口)
 - ・総合相談対応、専門・担当への連携

3 業務状況

- 月～土 8:50～
地域医療サービスセンターでのミーティング
 - ・入退院状況、転入出、感染症発生状況他病床コントロール上の問題共有
 - ・夜間入院患者で介入が必要と思われる患者の情報共有
- 金 13:00～
総合相談窓口カンファレンス・患者サポートカンファレンス
- 多職種カンファレンス
 - 月 - 脳神経外科・内科カンファレンス
 - 火 - 外科・W5病棟
 - 水 - 整形外科・E5病棟・W3B病棟
 - 木 - 消化器内科

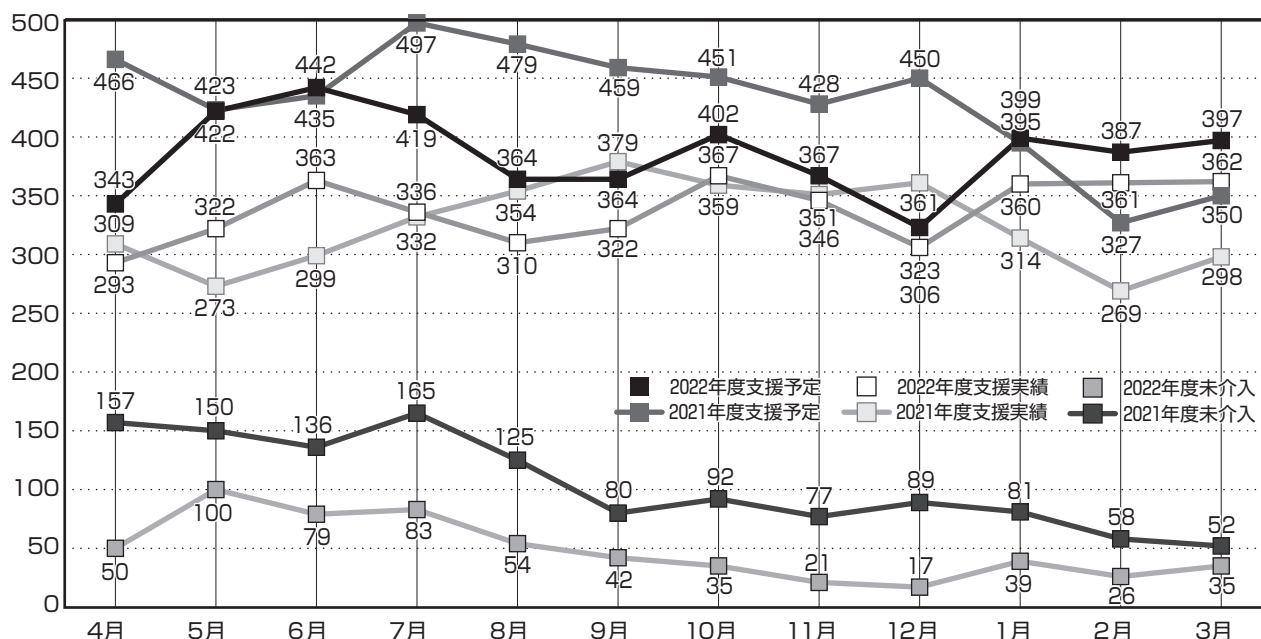
4 特に力を入れたこと

- 入退院支援の充実
 - 1) 地域医療サービスセンター内での情報共有、連携ミーティングと支援会議の定期開催
 - 2) 退院支援フローの充実、退院支援計画立案・介入における問題点の抽出
 - 3) グループ内連携、後方連携機関への積極的な訪問・連絡会への参加
 - 4) 定期的な多職種カンファレンスの実施
 - 5) 総合相談窓口の担当者を常時配置、相談業務の質の向上

5 今後の課題

- 平均在院日数10日を見据えた退院支援の実践
 - ・入院時スクリーニング兼総合評価表用紙のさらなる活用
 - ・後方連携機関・地域ケアプラザへの定期的な面会、情報共有
 - ・退院支援会議の在り方の検討、病院機能を考えたグループ内連携の強化

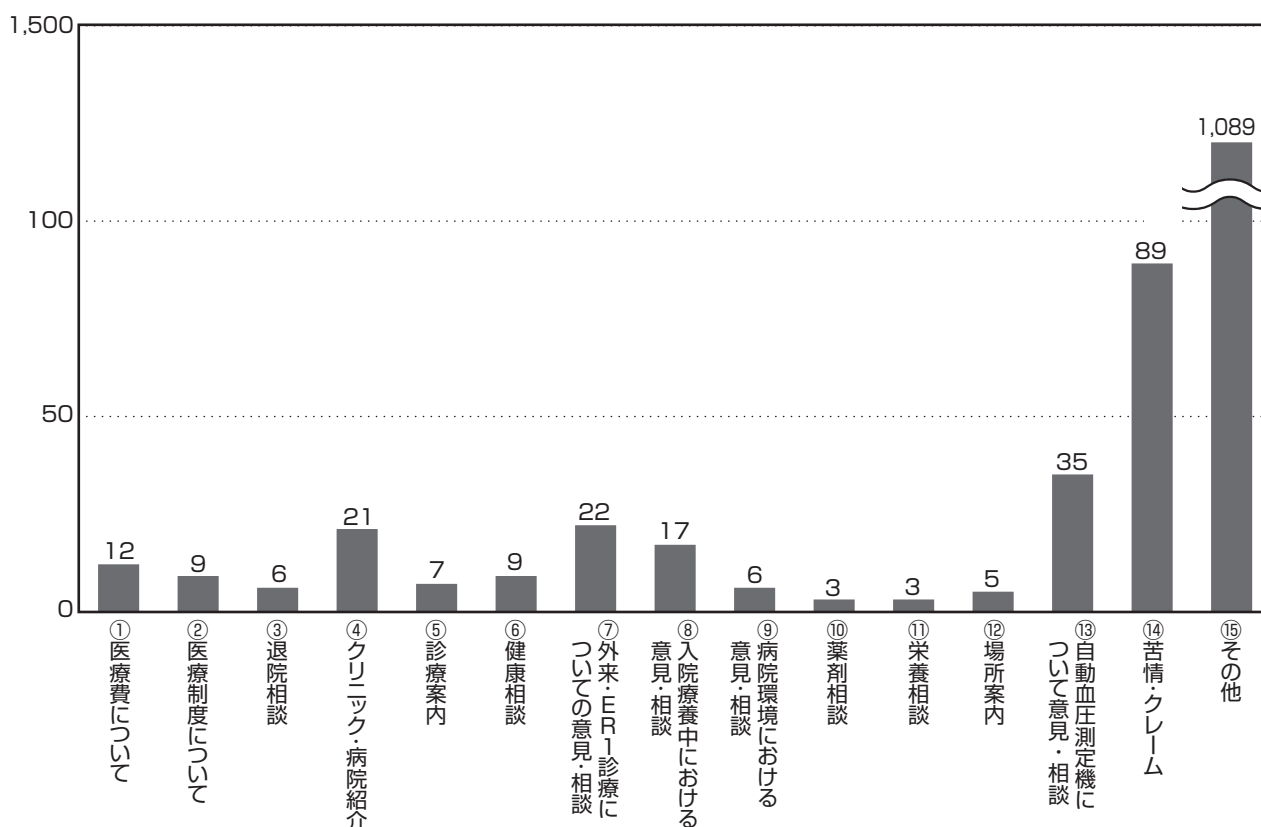
●2022年度介入実績(退院月でカウント)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度支援予定	343	422	442	419	364	364	402	367	323	399	387	397	4,629
2021年度支援予定	466	423	435	497	479	459	451	428	450	395	327	350	5,160
2022年度支援実績	293	322	363	336	310	322	367	346	306	360	361	362	4,048
2021年度支援実績	309	273	299	332	354	379	359	351	361	314	269	298	3,898
2022年度未介入	50	100	79	83	54	42	35	21	17	39	26	35	581
2021年度未介入	157	150	136	165	125	80	92	77	89	81	58	52	1,262

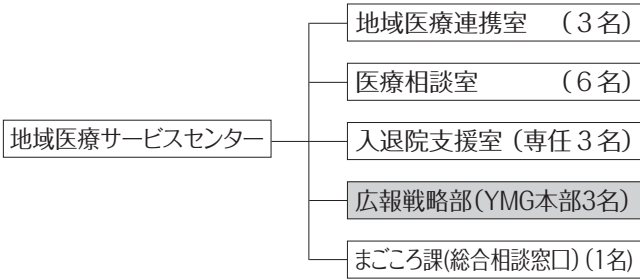
※入退院支援計画は社会福祉士立案数も合算

●総合相談窓口 相談内容別件数



広報戦略部

1 業務体制



●人員構成 (2022年4月1日～2023年3月31日)

職員数		2022年度(対前年度)		
2021	2022	増員	減員	差引
2	3	1	0	+1

2 業務内容

- ・ 広報誌「ひかり」企画・制作
 - 【発行回数】年6回(奇数月発行)
 - 【発行部数】各号900部
- ・ 年報誌編集 進行管理
 - 当院の1年間の活動実績、各部署の概要や統計などを掲載
 - 【発行回数】年1回
 - 【発行部数】650部(2022年度)
- ・ 職員対象広報誌「月刊YMG」
 - 【発行回数】月1回メール配信
- ・ 各種パンフレット、リーフレット制作(関連施設・関連会社含む)
- ・ WEBサイト企画制作・運用
- ・ イベントポスター、パンフ等の各種販促物制作
- ・ 行事および制作素材の撮影
- ・ 広報戦略会議運営

3 業務状況

●広報誌「ひかり」

平均8～12ページの冊子を年6回発行しており、今年度もすべての企画・制作を院内で行った。毎号院内の各部署との連携のもと作成しており、多職種の連携の象徴だと考えている。連載の種類も多岐に渡り、バラエティに富んだ誌面となるよう一丸となり取り組んでいる。

今年度は“読者目線にたったとき、どのような記事を読みたいか”ということを大きく意識して企画を行った。今後も地域の皆様の役に立ち、病院のPRツールとして価値ある冊子をお届けすべく、さらなる努力を重ねていきたい。

5月号 vol.127



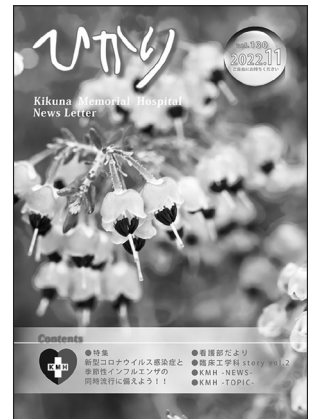
7月号 vol.128



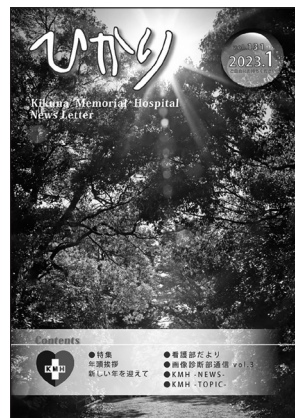
9月号 vol.129



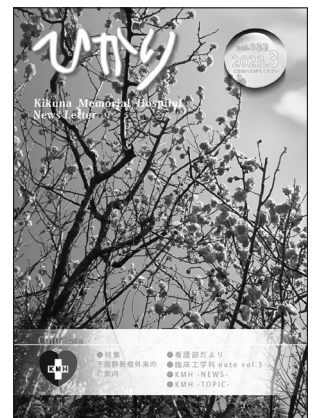
11月号 vol.130



1月号 vol.131



3月号 vol.132



●ホームページ

当院のサイト全体のリニューアルへの着手を始めた。手探りの日々が続いたが、患者さま最優先の親切なサイトにすべく企画立案から制作まで院内で連携と協議を重ねながら内容のブラッシュアップに努めた。公開は2023年4月末であったため、本誌では詳細のご報告は割愛するが、2023年度版の年報誌にてその成果を改めてご報告できればと思う。

●各種制作物

今年度は、主に以下の制作物を作成した。

【チラシ・パンフレット】

外來のご案内

下肢静脈瘤センター 外來担当表

診療科目	月	火	水	木	金	土	日
下肢静脈瘤専門外来	休	休	休	休	休	休	休
皮膚科一般外来	休	休	休	休	休	休	休
皮膚科専門外来	休	休	休	休	休	休	休

心臓血管外科
下肢静脈瘤
専門外来のご案内

当院紹介
院長 藤原 隆
副院長 藤原 隆
副院長 藤原 隆
副院長 藤原 隆

〒221-8511 東京都世田谷区東大塚4-4-17
TEL:03-686-7111 FAX:03-686-7112
受付時間:午前9時～午後5時
受付休日:日曜日・祭日
TEL:045-402-7015
受付休日:日曜日・祭日

●月刊YMG

2013年9月に職員対象の広報誌「月刊YMG」を創刊し9年が経つ。グループの各病院・施設から広報担当を選出し、施設行事・行事日程・各種お知らせ・入職医師等の情報などを集約し、一つの冊子化して配信している。また、グループ全体の行事に対しては、「特集記事」という形で取り上げ、飽きのこない誌面構成を心掛けている。

下肢静脈瘤治療のいろいろ

* 圧迫療法 *

弾性ストッキングについて

How-to 履き方

* 手術療法 *

ストッキングの種類

手術の種類

入院スケジュール

入院費用について

下肢静脈瘤をご存知ですか？

下肢静脈瘤とは

下肢静脈瘤専門外来では

1 まずは診察

2 パンフレットでご説明

3 検査の予約

4 神経ブロックの麻酔と検査

5 治療のご相談

下肢静脈瘤専門外来パンフレット(改訂)

問診票

診療の流れ

診察経過チェック表

初診

検査

再診

当院より大切なお知らせ

令和4年度診療報酬改定により、保険外併用療養費のご請求金額が変更になります。

一般療養 200 床以上の地域医療支援病院では患者様に対する負担が軽減されています。下記の場合、算定の対象となりますので、ご注意ください。大変恐縮ですが、皆様どうぞご理解・ご了承くださいませ。

初診時決定療養費

〇紹介状を持参せずに、受診された場合

令和4年9月30日まで 金額 4,800円(税込)

令和4年10月1日から 金額 7,700円(税込)

再診時決定療養費

〇担当医より他の医療機関へ紹介を申し出た後、当院で診察を希望し、受診された場合

令和4年9月30日まで 金額 660円(税込)

令和4年10月1日から 金額 3,300円(税込)

保険外併用療養費変更のお知らせチラシ

人間ドック割引のご案内

【ご自身 or 大切な方への贈り物として】人間ドック割引ご利用のご案内

人間ドックを積極的に受けましょう

コース一例

割引金額(税込) 健康チェック!

割引金額(税込) 健康チェック!

人間ドック割引ご利用のご案内

横浜の医療を支える存在へ!

地域医療支援病院として断らない救急を実践
8000台を超える救急車受け入れ実績
救急救命科として独立した部門!!

菊名記念病院 救急救命士募集

〒222-0011 神奈川県横浜市港北区菊名 4-4-27 TEL 045-402-7117
医療法人五重会 菊名記念病院 総務課 宛 MAIL soumu@kmh.or.jp

お問い合わせ

救急救命士求人チラシ

地域へ 第45回 菊名記念病院 公開市民講座

コロナ禍での福祉を 見て待望の再開!

認知症体操 ～おうちでできる頭の体操～

テーマ:『認知症体操 ～おうちでできる頭の体操～』

1月19日(木) 14時～(1時間)

会場: 菊名コミュニティハウス

ご自宅でも手軽に取り入れられる
体操で、認知症を予防しましょう!

当日のスケジュール

- ① 講義・説明: 15分
- ② 体操: 30分
- ③ 質疑応答: 15分

講師

講師: 老人認知症専門 高藤 優
(菊名記念病院主任看護師)

運営: 福岡・二本柳(同上)

申込方法 (事前予約制) (定員10名)

定員10名の事前予約制です。ご参加お待ちしております。
下記の受付開始期間を待って、次の番号までお電話ください!

電話受付開始期間 12月21日(水) 10時～(受付)

045-401-4964 (菊名コミュニティハウス)

主催: 菊名記念病院 看護部

共催: 菊名コミュニティハウス 電話番号: 045-401-4964

公開市民講座チラシ

周辺地区

JR 横濱線・東急東横線
菊名駅東口より徒歩3、4分

〒222-0011 神奈川県横浜市港北区菊名 4-4-27 TEL 045-402-7111(代) FAX 045-402-7331
URL: https://kmh.or.jp/ E-mail: kikuna@kmh.or.jp

●電車でお越しの場合
JR横濱線・東急東横線 菊名駅東口より徒歩3、4分

●バスでお越しの場合
臨港バス 鶴01系統「菊名駅前」下車徒歩3分
臨港バス 鶴01系統「菊名小学校入口」下車徒歩2分
東横バス 41系統・59系統 「菊名小学校入口」下車徒歩2分

●お車でお越しの場合
有料の駐車場を設けています。
(2時間まで…1時間 100円 2時間超…30分 100円)
明島街から正面玄関の方へお入りください。

臨床工学技士

4月から一緒に働こう! 求人募集!

菊名記念病院では、2023年4月より勤務可能な
CEさんを大募集中! 東横線・JR横濱線 菊名駅
から徒歩4分と近いやすい好立地。現在の医療に
不可欠な医療機器のスペシャリストを育てます!
高い専門性をもつ仲間と一緒に活躍しましょう!

詳細はこちらでご確認
可能です。QRコードを
読み込みHPへアクセス!

【リクルートページ】
<https://kmh.or.jp/recruit/comedical.html>

【臨床工学科ページ】
<https://kmh.or.jp/me/index.html>

臨床工学技士求人チラシ(表面・中間)

臨床工学技士

～救え! 医療の前進員 in 臨床工学科～

求人募集だけでなく実際の業務の様子からいかに一人ひとりの
業務の重要性を(紹介)に発信活動の一環として様々な業務を
ご紹介します。実際の毎日! 紹介に込められた思いが伝わります。

1. 心臓カテーテル室業務

2. 救急室業務

3. 手術室業務

4. 放射線業務

5. 臨床工学技士中央管理業務

6. 手術室管理業務

7. 人工呼吸器業務

8. 手術室管理業務

9. 手術室管理業務

10. 手術室管理業務

11. 手術室管理業務

12. 手術室管理業務

13. 手術室管理業務

14. 手術室管理業務

15. 手術室管理業務

16. 手術室管理業務

17. 手術室管理業務

18. 手術室管理業務

19. 手術室管理業務

20. 手術室管理業務

21. 手術室管理業務

22. 手術室管理業務

23. 手術室管理業務

24. 手術室管理業務

25. 手術室管理業務

26. 手術室管理業務

27. 手術室管理業務

28. 手術室管理業務

29. 手術室管理業務

30. 手術室管理業務

31. 手術室管理業務

32. 手術室管理業務

33. 手術室管理業務

34. 手術室管理業務

35. 手術室管理業務

36. 手術室管理業務

37. 手術室管理業務

38. 手術室管理業務

39. 手術室管理業務

40. 手術室管理業務

41. 手術室管理業務

42. 手術室管理業務

43. 手術室管理業務

44. 手術室管理業務

45. 手術室管理業務

46. 手術室管理業務

47. 手術室管理業務

48. 手術室管理業務

49. 手術室管理業務

50. 手術室管理業務

51. 手術室管理業務

52. 手術室管理業務

53. 手術室管理業務

54. 手術室管理業務

55. 手術室管理業務

56. 手術室管理業務

57. 手術室管理業務

58. 手術室管理業務

59. 手術室管理業務

60. 手術室管理業務

61. 手術室管理業務

62. 手術室管理業務

63. 手術室管理業務

64. 手術室管理業務

65. 手術室管理業務

66. 手術室管理業務

67. 手術室管理業務

68. 手術室管理業務

69. 手術室管理業務

70. 手術室管理業務

71. 手術室管理業務

72. 手術室管理業務

73. 手術室管理業務

74. 手術室管理業務

75. 手術室管理業務

76. 手術室管理業務

77. 手術室管理業務

78. 手術室管理業務

79. 手術室管理業務

80. 手術室管理業務

81. 手術室管理業務

82. 手術室管理業務

83. 手術室管理業務

84. 手術室管理業務

85. 手術室管理業務

86. 手術室管理業務

87. 手術室管理業務

88. 手術室管理業務

89. 手術室管理業務

90. 手術室管理業務

91. 手術室管理業務

92. 手術室管理業務

93. 手術室管理業務

94. 手術室管理業務

95. 手術室管理業務

96. 手術室管理業務

97. 手術室管理業務

98. 手術室管理業務

99. 手術室管理業務

100. 手術室管理業務

4 特に力を入れたこと

【クオリティアップと新規業務への挑戦】

今年度より従来のデザイン中心の業務からより効果的な情報発信の提案も担う部署として再出発を切った。“人の心を捉えるプロモーションとはなにか”“どうすれば患者さまにとってよりわかりやすい内容になるか”という原点に立ち返り、販促物のクオリティアップに積極的に取り組んだ。また、前述のホームページリニューアルをはじめとする新たな挑戦にも着手し、部署全体の力量アップを目指して模索した1年だった。

5 今後の課題

【病院のブランディングの確立】

超高齢化社会化・人口の減少など、医療業界を取り巻く現状は相変わらず猛スピードで変化している。こうした社会情勢の中、病院のブランディングをいかに確立するかが当部署の課題だと感じている。一つ一つの制作物に深く丁寧に向き合い、当院の特徴や強みをより強く打ち出せるよう、さらなる研鑽を続けていきたい。